

新時代の緩和ケアとしての「認知症ケア」  
～住民型認知症カフェの  
毎日8年間の実践から学ぶ～

---

《(一社)久留米健康くらぶ》

2025年5月9日

2025/5/9 1

ボランティア15年目  
認知症カフェ10年の歩み ①

2011年:任意団体発足  
理念:子どもから高齢者の心身の健康づくり

2012年:NPO法人 設立

2014年:認知症カフェを週2回運営

2015年:認知症カフェを平日毎日運営  
(久留米市の補助金)

2015～2016年:RKB共感TVで放映

2018年:一般社団法人久留米健康くらぶに変更





## 住民型認知症カフェ 10年の歩み ②

2020年4月：**新型コロナ**発生  
2020年：『認知症カフェをつくろう』セミナー  
+ 『開設講座』をセットで開催  
2021年：『認知症カフェ開設講座』は、**久留米市が主催**へ  
2022年：『住民型認知症予防カフェ連絡協議会』発足  
○ **ほっとカフェ**を閉店  
⇒ **各地域に新規開設**を促進へ

2025/5/9 6

## 第1回 福岡県認知症カフェ交流会

認知症と共に生きる地域の居場所“認知症カフェ”の提言

**2019年11月17日(日) 14:00~16:30(13:30 開場)**

**【一部】 武地一先生 講演会**  
「認知症カフェの現状と課題そして提言」



**【プロフィール】**  
京都大学医学部卒業  
1999年京都医大付属病院に物忘れ外来を開設  
日本認知症学会・日本老年医学会代議員・専門医・指導医  
及び日本内科学会総合内科専門医  
2016年藤田医科大学医学部認知症・高齢診療科教授  
京都認知症カフェ連絡会代表世話人  
NPO法人オレンジコムズ理事長  
日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞受賞



**定員  
100名**  
【先着順】

2025/5/9

## 地域で これからの居場所づくり 一緒につくろう認知症カフェの集い

**2020年10月11日(日) 14:00~16:30**  
久留米シティプラザ 5階大会議室

**1冊 認知症の最新情報** ■講師：音成龍司 先生  
音成脳神経内科・内科クリニック院長、久留米大学医学部臨床教授、Dr.フンファン実行委員長、一般財団法人やさしい街代表理事  
著書／『笑顔の認知症』他

**2冊 地域を変える「認知症カフェ」の現状** オンライン講演  
■講師：矢吹知之 先生  
認知症介護研究・研修仙台センター 研修部長、東北福祉大学総合福祉学部 准教授  
著書／『認知症カフェ読本～知りたいことがわかるQ&Aと実践事例～』中央法規出版  
『地域を変える認知症カフェ企画・運営マニュアル』中央法規出版 他  
アルツハイマーカフェ創始者であるベレミーセン氏の助言のもと『志願の音楽カフェ』開催。認知症の本人による本人のための相談窓口「おれんじドア」の実行委員。  
日本認知症ケア学会理事。

**定員  
100名**  
**参加費  
500円**

2025/5/9

この事業は「ふくおか地域貢献活動サポート事業」を活用して実施しています

**誰もが居心地のよい街に!**

**「一緒につくろう認知症カフェ」**

**2021年9月23日(木・祝日)**  
14:00~16:30 (13:30 開場)

**久留米シティプラザ 5階大会議室**  
(福岡県久留米市六ツ門町8-1)

定員 会場・オンライン 各**100名**  
参加費 **500円**

**1時 地域で取組む認知症カフェとは?** オンライン 講演

■講師: 矢吹 知之 (やぶき ともゆき) 先生  
認知症介護研究・研修仙台センター 研修部長、東北福祉大学総合福祉学部 准教授  
著書/「認知症カフェ読本〜知りたいことがわかるQ&Aと実践事例〜」中央法規出版  
『地域を変える認知症カフェ企画・運営マニュアル』中央法規出版、他  
アルツハイマーカフェ創始者であるベレミーセン氏の助言のもと「土曜の音楽カフェ」開催、認知症の本人による本人のための相談窓口「おれんじドア」の実行委員。  
日本認知症ケア学会理事。

《久留米市委託事業》


**認知症カフェ運営者募集中**

**開設講座のご案内**

『認知症カフェ』は、認知症のご本人・家族や専門家・市民が気軽に集い、認知症について楽しく交流し学ぶスペースです。「認知症カフェ」の開設者を養成し、カフェの設置を促し認知症の人や家族を支える地域づくりを目的に実施します

**定員20名** ズーム視聴も可

地域の住民がチカラを合わせて認知症を正しく理解し学ぶ場となる**住民型認知症カフェ**を一緒につくっていきませんか?



**市内小学校46校区に1つ**  
**2025年4月現在 15ヶ所 + 5ヶ所**



久留米市内 認知症カフェ 4月



日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	1 こよない (10時~12時)	2 手と手 (10時~12時)	3 しらとり (10時~12時) ひだまり (10時~12時) わが家 (14時~16時)	4 金曜カフェ (12時半~15時半) ほっぴー (9時半~11時半) うちのカフェ (10時~12時)	5 ワイワイワイ (10時~12時) ほっとカフェ (10時~12時) すまいるサロン (10時~12時)	
6	7 ゆかり (10時~11時半) 友遊クラブ山川 (10時~12時)	8 なごみ (10時~12時) えがお (10時~12時)	9 手と手 (10時~12時) ウォームアップ (13時~17時)	10 くましほイキキ (10時~11時) しらとり (10時~12時)	11 ほっぴー (9時半~11時半) ゆめぼたろ (10時~12時) ユニーカフェ (10時~12時)	12 ワイワイワイ (10時~12時) すまいるサロン (10時~12時) ユニーカフェ (10時~12時)
13	14 友遊クラブ金島 Y.Y.ふくふく (10時~12時)	15 こよない (10時~12時)	16 手と手 (10時~12時) くつろぎ (10時~12時)	17 しらとり (10時~12時) ひだまり (10時~12時) わが家 (14時~16時)	18 金曜カフェ (12時半~15時半) ほっぴー (9時半~11時半) うちのカフェ (10時~12時)	19 ワイワイワイ (10時~12時) ほっとカフェ (10時~12時) すまいるサロン (10時~12時)

**3年間で15ヶ所の開設はなぜ？**

6年前から準備！

1. **人財掘起こし**のセミナー開催 → 約80名参加！  
 ◇タイトル:①認知症をみんなで考えよう！  
                   ②みんなで認知症カフェをつくろう！  
                   ③認知症は改善できる
2. **人財育成**の「開設講座」 → 約20名前後参加  
 ○翌年～ **久留米市主催**で委託事業へ！  
 ○約1/4の5名が、翌年度開設へ

2025/5/9 13



**認知症予防カフェで  
みんな笑顔に！**

**ほっとカフェ中央町  
(福岡県久留米市)**

**ものわすれ相談室** 久留米市  
市民活動  
絆づくり  
推進事業

一般社団法人 久留米健康くらぶ TEL:090-8299-1848(横道)

**無料** 健康・認知症  
みんなでも相談室

平日10時～18時  
火曜日休み  
日曜日・祝日は休み

**物忘れ 予防 進行防止**

**楽しい**  
学びの年間企画

ためになる年4回の  
認知症セミナー  
5月・8月・11月・来年2月 開催

**あれっ!  
と思ったら!**

**5つの  
認知症相談会**

**要予約**

- 家族相談会【ご本人及び家族】  
(毎月第2土曜日10時～14時)
- 男性英達の会【男性介護者の集い】  
(毎月第1土曜日13時30分～15時30分)
- レディース英達の会【女性介護者の集い】  
(毎月第3土曜日13時30分～15時30分)
- オンライン英達の会【子ども世代の介護者の集い】  
(毎月第3土曜日20時～21時30分)
- 喜ばな集い【当事者の集まり】  
(毎月第3日曜日14時～16時)

**あれっ!  
と思ったら!**

**5つの  
認知症相談会**

**要予約**

- 家族相談会【ご本人及び家族】  
(毎月第2土曜日10時～14時)
- 男性英達の会【男性介護者の集い】  
(毎月第1土曜日13時30分～15時30分)
- レディース英達の会【女性介護者の集い】  
(毎月第3土曜日13時30分～15時30分)
- オンライン英達の会【子ども世代の介護者の集い】  
(毎月第3土曜日20時～21時30分)
- 喜ばな集い【当事者の集まり】  
(毎月第3日曜日14時～16時)

**無料** 健康・認知症  
みんなでも相談室

平日10時～18時  
火曜日休み  
日曜日・祝日は休み

**物忘れ 予防 進行防止**

**楽しい**  
学びの年間企画

**あれっ!  
と思ったら!**

**5つの  
認知症相談会**

**要予約**

- 家族相談会【ご本人及び家族】  
(毎月第2土曜日10時～14時)
- 男性英達の会【男性介護者の集い】  
(毎月第1土曜日13時30分～15時30分)
- レディース英達の会【女性介護者の集い】  
(毎月第3土曜日13時30分～15時30分)
- オンライン英達の会【子ども世代の介護者の集い】  
(毎月第3土曜日20時～21時30分)
- 喜ばな集い【当事者の集まり】  
(毎月第3日曜日14時～16時)

**あれっ!  
と思ったら!**

**5つの  
認知症相談会**

**要予約**

- 家族相談会【ご本人及び家族】  
(毎月第2土曜日10時～14時)
- 男性英達の会【男性介護者の集い】  
(毎月第1土曜日13時30分～15時30分)
- レディース英達の会【女性介護者の集い】  
(毎月第3土曜日13時30分～15時30分)
- オンライン英達の会【子ども世代の介護者の集い】  
(毎月第3土曜日20時～21時30分)
- 喜ばな集い【当事者の集まり】  
(毎月第3日曜日14時～16時)

**あれっ!  
と思ったら!**

**5つの  
認知症相談会**

**要予約**

- 家族相談会【ご本人及び家族】  
(毎月第2土曜日10時～14時)
- 男性英達の会【男性介護者の集い】  
(毎月第1土曜日13時30分～15時30分)
- レディース英達の会【女性介護者の集い】  
(毎月第3土曜日13時30分～15時30分)
- オンライン英達の会【子ども世代の介護者の集い】  
(毎月第3土曜日20時～21時30分)
- 喜ばな集い【当事者の集まり】  
(毎月第3日曜日14時～16時)

プロジェクトN




8年間の経験を元に！  
**「認知症」**  
 早期発見&対応の  
 小冊子をつくり

**住民主体の認知症カフェを全国に広げたい！**

2025/5/9 17

プロジェクトN

おかげさまで、ネクストゴール  
**130万円の目標達成！**  
 本当にありがとうございます！！  
**9月30日まで受付中！**



8年間の経験を元に！  
**認知症** 早期発見&対応の小冊子をつくり  
 住民主体の認知症カフェを全国に広げたい！

2025/5/9 18

認知症カフェ8年間運営の気づき！

何故  
 発見が遅れるのか？

**認知症は改善できる！**

早期発見 → 早期対応 → 進行防止

住民主体認知症カフェが橋渡し!!



「認知症カフェ」からの提言！  
 住民主体の運営が変わる

の“生”の声で学んだ  
**“もの忘れは怖くない”**

著者：一般社団法人久留米健康くらぶ  
 監修：音成脳神経内科・内科クリニック院長 音成龍司

2025/5/9 19

毎日新聞 2023年(令和5年)11月24日(金)

経験基に早期発見ポイント紹介

「認知症改善」冊子を発刊  
 久留米健康くらぶCDFで資金

2023年(令和5年)11月26日(日曜日)

認知症正しく理解小冊子  
 久留米の法人 早期発見のポイント記す

久留米市認知症カフェ「新築」プロジェクトの成果として、今年11月に「認知症改善」冊子を発刊した。久留米健康くらぶ(CDF)が資金提供し、冊子は「認知症改善」冊子を発刊した。久留米健康くらぶ(CDF)が資金提供し、冊子は「認知症改善」冊子を発刊した。

クラウドファンディング目標達成！

**「小冊子発刊」記念セミナー！** 参加費 500円


認知症“予防”カフェに関わる  
当事者、介護者、専門家、運営者  
の**「声」**を聴こう！

**11/26** (日) 14:00~16:00

2025/5/9 21

住民型認知症カフェ10周年記念セミナー  
令和6年6月2日 久留米シティプラザ

久留米大学病院  
小路教授



久留米市の市民活動応援  
クラウドファンディング事業に採択

ふるさと納税クラウドファンディング

認知症で困っている  
人や家族を救いたい

久留米市  
×  
市民活動団体  
協働プロジェクト



ふるさと納税で  
市民活動を応援


税控除の対象  
市民もOK！  
12/31まで

**“認知症カフェ”とは！**

国家戦略：新オレンジプラン  
2012年～(2015年～本格化)

健常者⇒ふれあいサロン⇒**認知症カフェ**⇒デイサービス

認知症の方やご家族、そして  
専門家・市民が気軽に集う場所



○全国約8,000ヶ所(2019年3月) → コロナ禍で半減へ  
○福岡県内公表246ヶ所→半減 久留米市6ヶ所→**25ヶ所へ**

2025/5/9

## 認知症カフェの役割・目的

### 本人にとって

- ・交流の場(居場所)
- ・本音で話しやすい、相談できる
- ・不安の軽減、心のよりどころ
- ・娯楽として、趣味の場
- ・仲間づくり
- ・認知症の予防、進行を遅らせる

### 家族・介護者にとって

- ・情報交換
- ・学びの場
- ・(心理的)負担の軽減
- ・専門家へのつなぎ・相談の場

### 地域にとって

- ・認知症への理解の促進
- ・偏見の解消
- ・多世代交流の場

### 専門職にとって

- ・学びの場
- ・本人・ご家族との交流を通して
- ・多職種連携

## 認知症カフェとその位置づけ ～切れ目のない地域の実現に向けた新しい場所づくり～

認知症介護研究・研修仙台センター研修部長  
東北福祉大学総合福祉学部准教授  
矢吹知之 著

## 認知症カフェは、 絶望から希望に繋がるための場所です

### 本人と家族の“繋がり”

交流は、2年前に認知症と診断されたのですが、長年介護で介護保険サービスは必要ありません。世帯を分けていたと云ふので、地域の人の生活が気になります。お友達もいなくなり、生活が苦しくなりました。でも、この認知症カフェには参加できるんです。新しい生活がはじまりました。

### 認知症のことを“学ぶ”

認知症は、認知症と診断されたから治療を無視してはいけません。でも、認知症カフェに来てみて、認知症のことを学ぶことで、少しづつ生活が楽になっていきました。本人も家族も認知症について一歩ずつ学び、知る機会があるというところは本当にありがたいです。

### “地域”とつながりをつくる

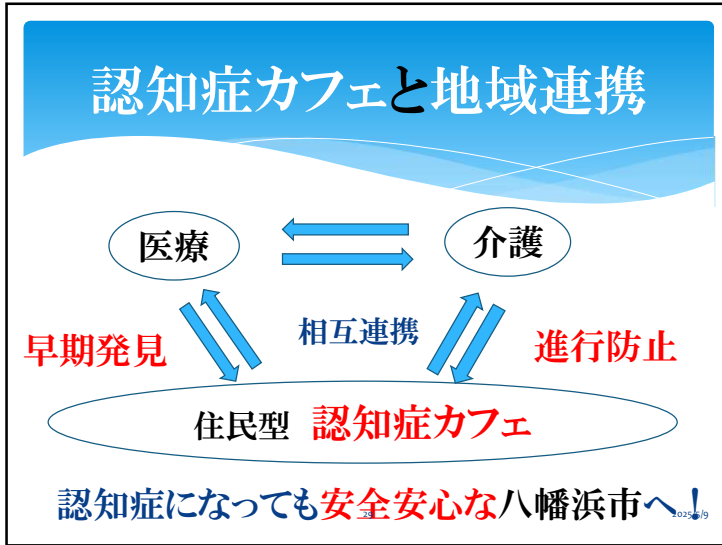
私は、認知症と診断されたのがまだ若くして、まだ仕事もしていたので、認知症カフェには参加していません。でも、地域の認知症カフェには参加して、地域の認知症カフェで、認知症のことを学び、知る機会があるというところは本当にありがたいです。

## 私たちの 認知症カフェ

2025/5/9

# 認知症カフェは、 絶望から希望に 繋がるための場所です

2025/5/9 28



## 認知症カフェの課題

2023年3月の全国アンケート調査の結果

◇運営者：福祉法人・地域包括支援・病院等  
 専門家の運営が約70%  
 ※ 新型コロナで大半が閉鎖、今も半分以上が休止

◇3つの課題

1. 認知症のご本人の参加が少ないが 76.7%
2. 継続の不安も 60.2%
3. 地域の理解 48.2%

2025/5/9

## 認知症カフェの課題

◇3つの課題

1. 認知症ご本人の参加が少ない  
76.7%
2. 継続の不安 60.2%
3. 地域の理解 48.2%

2025/5/9

## その要因は？

要因①：運営者が介護施設や病院・地域包括等で約70%  
 →場所も大半が、介護施設・病院で  
 敷居が高く、一般市民は気軽に行けない

要因②：送迎無しが大半⇒認知症の方は一人で来れない

要因③：補助金も大半無し、赤字運営（事業所負担）が大半

要因④：スタッフ不足で月1回運営（全国的）が大半  
 →認知症の方は、記憶の継続で週1回の開催が望ましい

2025/5/9

## 住民型認知症カフェとは？

- ◇ 小学校校区単位に設置 → 久留米市44小学校
- ◇ 週に1回2時間の開催(最低月2回以上)
- ◇ 地域の市民数名が主体+ボランティア+専門家
- ◇ 地域の介護施設・地域包括センターと月1回支援で連携
- ◇ 地域の民家・集会所・店舗等気軽な場所ならどこでも

2025/5/9 33

## 認知症予防カフェとは

知らない方とも交流できる

気軽に認知症の人とその家族が安心して過ごせる

本人や家族もいつでの気軽に相談できる

専門家の認知症講座あり

何時でも自分の思いを話し情報交換

認知症になっても安心して暮らせる

専門家に繋がり認知症の早期発見

**気軽にお立ち寄りください**

2025/5/9

## 認知症予防カフェとは

# 「認知症カフェ」 では来ない！

**気軽にお立ち寄りください**

2025/5/9

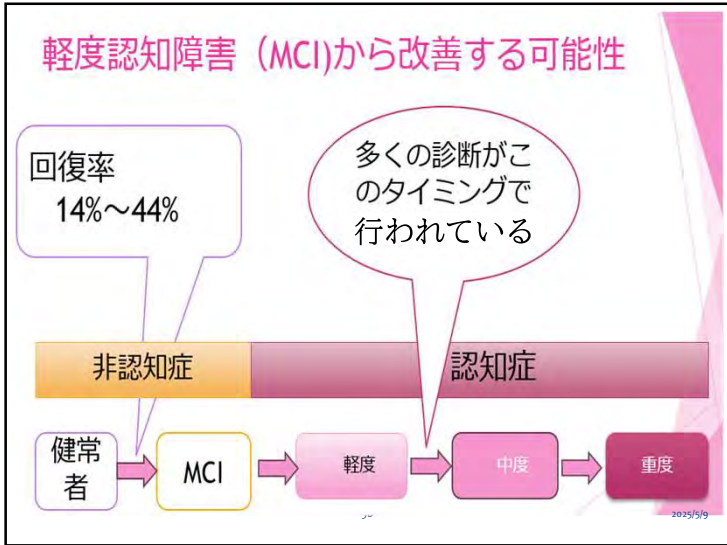
## ふれあいサロンとの違い

<p><b>ふれあいサロン</b></p> <p>元気な高齢者が中心の集まり</p> <p>社会福祉協議会がサポート</p> <p>アクティブな活動が中心</p> <p>コミセンや自治会館等の利用</p>	<p><b>認知症予防カフェ</b></p> <p>認知症ご本人・家族他だれでも</p> <p>久留米市長寿支援課がサポート</p> <p>おしゃべり・相談・進行予防</p> <p>地域の気軽な場所ならどこでも</p>
--	---

2025/5/9

### 住民型認知症カフェで 学んだ事・気づいた事

1. **早期発見が遅い**  
○病院や地域包括等敷居が高く、中々行かない
2. **家族**は同居含めて、認知症への知識が薄く  
様子見で本人の拒否含め、対応が遅くなっている
3. **かかりつけ医** (一般内科) では、認知機能検査はなく  
年相応で大丈夫！と言われ、数年遅れている  
**【住民型認知症予防カフェ】に通うこと**



### 早期発見・早期対応が遅い！ あれっ！の気づき (30項目)

◇主な7つの事例

- 探し物が増え、置き忘れが増えてくる
- 日時を何度も確認したり、同じ話を何度も繰り返す
- 約束の日時や場所を間違えたり、約束した事を忘れる
- 些細な事で、怒りっぽくなったりします
- 意欲ややる気がなくなってきて、何でも面倒くさくなる
- 定期的に行う家計簿や役所への提出をするのが難しくなる
- 水の出っぱなしや入浴・洗面・歯磨きをしなくなる 他

この内容の**数**や**頻度**が増えてきたら早めに診断を！

### 早期発見何故遅れるのか？ (1)

◇**あれっ！の気づき** ⇨ 病院・検査は数年後？

- 1) 一人住まい ⇒ 家族が気づいても**まだ大丈夫**
- 2) 老々夫婦 ⇒ **年だから仕方ない**
- 3) 同居 ⇒ **対話がなく気づかない！**

多くの人々が、認知症の事を知らない

## なぜ、早期発見が遅いのか？(2)

1. 最初にあれっ！と気づく⇒ **身近な家族**  
○普通に生活・足腰元気 → 年だからと見過ごす
2. 次に気がつくのは**お友達**！  
○躊躇して言えずに様子見で過ごしている
3. 本人の自覚は遅く**進行しても無い方**もいる  
○なりたくない！+もの忘れ！が怖いも**要因**

## なぜ、早期発見が遅いのか？(3)

4. **かかりつけ医** (内科) ⇒初期は対話も足腰も元気  
○検査もせずに“大丈夫” → 安心して1~2年が経過
5. 中等度・重度のイメージの浸透！⇒**ネガティブが蔓延**！  
○認知症になったら怖い！、「なったらおしまい！」  
○本人の**不安や恐怖感** → 受診へのためらい
6. 相談する窓口 (大手病院・行政等) の敷居が高い  
○本人も家族も躊躇 → 様子見で1~2年経過！  
→なかなか**専門医**・もの忘れ外来に行かない
7. 家族や友人・近隣との**人間関係の希薄化**が根底にある

## 早期発見の対策は？(1)

1. 認知症の**正しい知識や認識**を持つ事  
あれっ！と気づいた時に病院 (かかりつけ医⇒**専門医**) へ
2. 本人に行かせるのではなく**家族自身が**、健康診断や最近気になる！心配で行きたいので一緒に行く
3. 友人・知人は、**家族に伝える事**！⇒ 民生委員さん  
→ 地域包括支援センター へ
4. 地域のかかりつけ医には、認知機能検査やMRI等の画像診断を行う**専門医** (脳神経内科・外科・精神科・心療内科) を紹介へ

## 早期発見の対策は？(2)

5. 本人自身の**不安や恐怖感**  
⇒第3者 (**娘・孫**・かかりつけ医・信頼している知人)
6. 家族が、**認知症 (予防) カフェ**や行政の相談窓口 (**地域包括**) で相談 → 様々な橋渡しが可能
7. 政令都市の一部では**認知症機能検査の無償化**  
**かかりつけ医の認知機能検査の拡大**が必至
8. あれっ！の数や頻度が増えたら  
→ **上記専門医の診断を!** (町ぐるみで展開)

## 認知症は改善できる 良い事例①

- Aさん 男性(80代後半): 数年前に**お医者さんから軽度**と言われた  
 ➡ 落ち込み、奥様が**認知症カフェ**に連れて来られ週1回通い、  
 色々学んだ事(特に指や足腰を鍛える運動)を**実践し改善へ**
- Bさん 男性(70代後半): **認知症カフェ**に通い、次の**運転免許更新**の  
 点数が10点以上も上がり、今もほっとカフェと2ヶ所のカフェに通う
- Cさん 女性(80代半ば): 要介護1で認知症が進行、娘と**認知症カフェへ!**  
 ➡ ご主人(80台後半)の献身的な介護で笑顔で緩やかに進行!
- Dさん 女性(80代半ば): コロナ禍で少し進行! ➡ 直ぐに介護申請  
 をして、**リハビリ型のデイに週2回**通い、笑顔で元気に2025/5/9 45

## 早期対応の良い事例②

- Eさん 女性(80代半ば): 息子さん**少し疑問** ➡ 認知症カフェへ  
 ➡ 1ヶ月通い介護申請へ ➡ 要支援1で**リハビリ型デイ**へ  
 ➡ 何よりも息子さん二人が、**即対応**
- Fさん 男性(70代半ば): **カフェであれっ!**と感じ、地域包括へ  
 ➡ 介護申請し要支援1 ➡ カフェと**リハビリ型デイ**へ通い元気に!
- Gさん 女性(80代前半): ご主人が亡くなり、**うつ**の**症状へ!**  
 ➡ カフェに来られ、**お友達**が出来て明るく元気に!
- Hさん 女性(90代前半) ➡ 10年前からMCIで、毎日外出し未だに元気  
**※日々を笑顔で穏やかに過ごすこと** 2025/5/9 46

## 改善事例の特別編

- 要介護2の認知症(男性76歳) ➡ 周辺症状の劇的変化  
 ○無表情・しゃべらず・暴力 ➡ 笑顔・しゃべる・穏やかに  
**奥様の暴言・叱咤の激変で改善!**
  - 軽度認知症と診断(男性70歳) ➡ 専門医で診断  
 ○3年後に、長谷川式等数値が30点満点で、改善へ  
**奥様と二人三脚で様々な取組で改善!**
- ※**転倒**は、最大のリスク! ➡ 2年後に逝去(86歳の男性)  
2025/5/9 47

## 認知症が進行しない事例

- ご本人の努力**の事例 ➡ ほっとカフェで**学んだ事を実践**  
 ○5000歩50分、手指の運動、プール週3、カラオケ、日記  
 スマホが手帳!、麻雀(好奇心旺盛) ➡ **7年間の進行が遅い**
  - 短期記憶5分前忘れても ➡ 百人一首・書道・計算得意
  - 認知症中度でも出来ること ➡ 歌の音程○、生け花○、クイズ○
  - 免許更新:10数点改善 ➡ 歩く・パソコン・SNSにチャレンジ
  - 癌の告知+認知症** ➡ 看取り1週間前に自宅で面会!  
 ○最後まで、**記憶も感情も残り**、穏やかで対話が出来た
- ①本人の努力 ②家族の支援 ③カフェ・施設の活用**  
2025/5/9 48

## 在宅介護か入所か？

### ◇最大のポイントは？ ⇒ **人生会議!**

- 本人が**穏やかに過ごせる環境**？  
⇒ 同居でもストレスが増えて進行
- 良い入所先の**事前体験** ⇒ **予約は複数可!**

### ◇在宅が良いとは限らない!

- 火事・転倒・脳梗塞等・詐欺事件他
- 独居の寂しさ解消、お友達他＋楽しみ
- 家族の介護負担軽減
- 入所でも**週1回自宅**やお泊りも可

2025/5/9 49

## 認知症カフェと多職種連携①

### ◇**医師**:地域の**かかりつけ医**(or**専門医**)との連携

- 未受診・未検査・未認定の方々をカフェから紹介
- 医師からは、進行予防で認知症予防カフェを紹介

### ◇**ケアマネージャー**との連携

- デイサービスに行かない方 ⇒ 認知症予防カフェへ  
※3ヶ月以内にカフェ＋施設両方を利用へ!
- 認知症の疑い(要介護?) ⇒ 介護認定申請 ⇒ ケアマネ紹介
- 要支援? ⇒ 地域包括へ紹介 or 介護認定申請へ

2025/5/9 50

## 認知症カフェと多職種連携②

### ◇**歯科医師他**: 歯科医師他病院で心配な患者

- もの**わずれ相談室**(認知症予防カフェ)を紹介
- カフェで**口腔ケア**の必要性をお話 ⇒ 歯医者へ紹介

### ◇**薬剤師(調剤薬局)**との連携

- 多種類の薬の服用患者 ⇒ **かかりつけ薬局**を紹介
- MCI・健常者でも**アリセプト**等を処方? ⇒ 副作用 ⇒ 改善!
- 認知症の疑いのある方は、家族経由で認知症カフェ紹介

※全国的に**調剤薬局が、認知症カフェ運営**の事例多い

2025/5/9

## 認知症カフェと多職種連携③

### ◇**看護師との連携**: 訪問看護・看多機 ⇒ 住民型カフェへ

- 病院看護師は、認知症の対応体験が少なくカフェで体験
- カフェでの役割重要: 認知症以外の**体調・病気の相談窓口**

### ◇**介護士**との連携

- 認知症カフェで**専門家**のお話・相談及びカフェの紹介

### ◇**保健師**との連携: まちなかものわずれ相談室と連携

- 認知症カフェで、**フレイルチェック**・健康診断促進

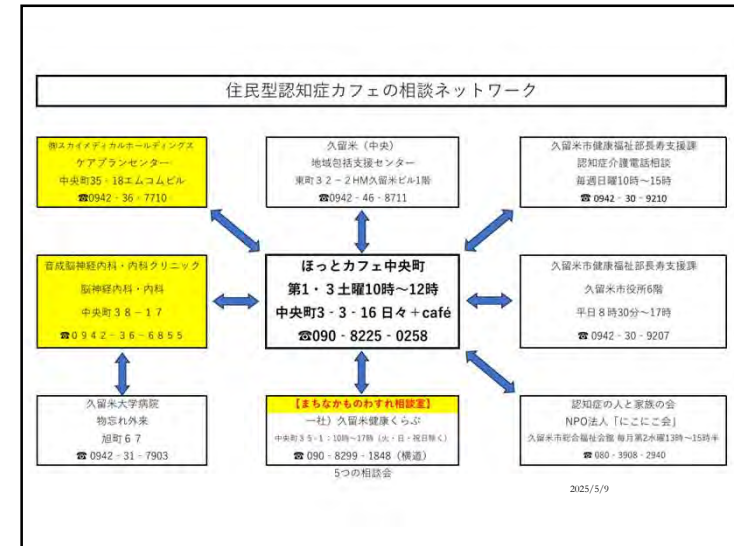
※多職種と【**包括的相互連携**】を目指す

2025/5/9 52

## 新早期発見対策ここから！

1. 気軽に相談できる場づくり  
『住民型認知症予防カフェ』の地域単位での拡充  
○カフェ単位の『相談ネットワーク図』で橋渡し  
  
『まちなかものわすれ相談室六ツ門』の新設  
○新団体『認知症を改善し隊久留米』で7月～本格稼働！  
○「まちなかものわすれ相談室中央町」⇒無料でいつでも対応
2. かかりつけ医（一般内科）では、専門医への紹介促進
3. 健康診断（65歳以上）で、認知機能簡易検査実施を検討へ

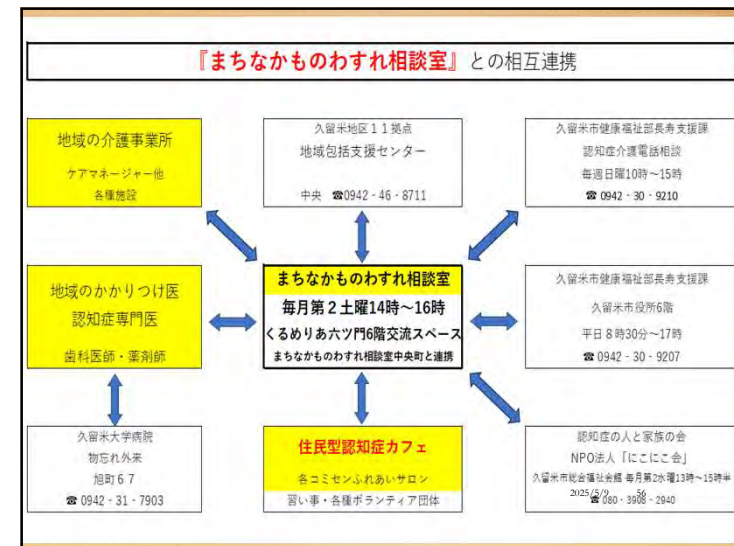
2025/5/9 53



## まちなかものわすれ相談室とは？

1. 認知症の【早期発見】と【進行改善】
2. 困っている認知症ご本人や予備群そして介護家族が街なかで「ものわすれ」で気軽に集う場づくり
3. 地域単位で医療・介護・看護及び行政と連携
4. 地域の住民型認知症カフェ・ふれあいサロン等と連携

2025/5/9 55



久留米市市民活動応援クラファン事業

久留米市  
市民活動価値  
協働プロジェクト

5月から  
はじまるよー！！

早期発見で認知症は改善できる！

**まちなか  
ものわすれ相談室**

2025年5月31日(土曜)  
14:00~16:00  
会場：くるめりあ六ツ門6階  
みんくる交流スペース  
(住所：久留米市六ツ門町3-11)

参加費  
500円

2025/5/9 57

### 今後の活動！

1. 『**住民型認知症予防カフェ**』を46校区単位に開設
2. 地域の医療機関・介護事業所・地域包括支援センターと**連携**
3. 新団体『**認知症を改善し隊久留米**』7月～本格稼働！  
○医療・介護・看護・市民活動団体の協議体！
4. 『**まちなかものわすれ相談室**』と相互連携で  
➡ **早期発見・進行改善を！**

2025/5/9 58

### 新団体とは？

4月12日：『まちなかものわすれ相談室』発足会

◇ **新団体【認知症を改善し隊久留米】**の活動開始

- **医療**：音成脳神経内科・内科クリニック
- **介護**：ふじの郷(介護事業所)
- **看護**：(株)セイコウカレッジ
- 一社)久留米健康くらぶ **の協議体**で展開

2025/5/9 59

### 今後の展開

- **ふくおか地域貢献活動サポート事業**に応募(4/25)  
⇒ 5月中旬プレゼン ⇒ **6月中旬 可否！**
- 5/31(土)『まちなかものわすれ相談室』**プレ1弾！**
- 6/14(土)『まちなかものわすれ相談室』**プレ2弾！**
- 7/12(土)『まちなかものわすれ相談室』毎週第2土曜  
**新協議体で本格スタート！**

2025/5/9 60

福岡認知症カフェ  
オンライン交流会

認知症カフェの運営者  
で意見交換しませんか？

事例紹介 運営課題 交流会

申込フォーム

2025/5/9

北九州編

認知症カフェ対面交流会に  
参加しませんか？

2025年度

日時：6月28日(土) 14:00~16:00  
会場：黒崎コムシティ3階301会議室  
北九州市八幡西区黒崎3-15-3(JR黒崎駅横)

対象者：認知症カフェ運営者(1カフェ2名まで)  
行政関連の認知症カフェ担当者1/5/9

まちなか  
ものわすれ相談室

住民型認知症カフェ10年!  
久留米市市民活動応援クラファン事業

【中央町】**無料**

健康・認知症  
びんぞも相談室  
平日10時~18時  
火曜日休み  
日曜日・祝日は休み

あれっ!  
と思ったの

ものわすれ  
心配・不安・悩みの  
ある方の集い  
認知症や介護等で相談も!  
毎月第2土曜日  
【六ツ門】で  
14時~16時  
会場:くるめりあ六ツ門6階  
【みんくる】

4つの  
認知症相談会

- 家族相談会【ご本人及びご家族】  
(毎月第3土曜日13時30分~15時30分)
- 実達の会【配偶者の介護者】  
(毎月第1土曜日13時30分~15時30分)
- オンライン実達の会【子ども世代の介護者】  
(毎月第3土曜日20時~21時30分)
- 喜楽な集い【当事者の集まり】  
(随時)

楽しい  
学びの  
年間企画  
年3回の  
認知症セミナーと  
みんなで楽しむ集い

2025/5/9

終わりに

1. 【住民型認知症カフェ】は、**地域包括支援システム**の1つ
2. 【まちなかものわすれ相談室】で、早期発見を相互連携で
3. かかりつけ医、健康診断で**認知症簡易機能検査**の促進
4. **2030年問題**(団塊世代が80歳)を視野に戦略的に取組む
5. **早期発見・進行改善**  
⇒ **介護費・医療費の大幅削減**へ

2025/5/9 64